

平成22年度 5月分NGO相談員対応結果報告書

団体名：(財)北海道国際交流センター

●今月の照会・相談対応全体に対する所感等(注:具体的に記載して下さい。)

NGO相談員を実施していることは地域で定着してきており、問い合わせはWEB、電話などを中心に増えてきている。特徴的なのは、社会的不況の中、青年海外協力隊や、シニアボランティア、または、NGOへの参加が増えている。22年度も、講演やセミナーなどを通じて積極的に相談対応を行ってゆきたい。

●今月貴団体が対応した照会・相談のうち、特筆すべき照会・相談事項を3件記載下さい(3件以上ある場合、追加して記載下さい。)

1	NGO相談員制度について	
相談内容	マスコミを中心に、NGO相談員制度について知りたいという相談	
対応内容	北海道で5年連続相談員をやっており、北海道全域から相談を受けていること。また、フェアトレード、開発教育など多い相談内容についても、説明をした。	
特筆した理由	例①チラシ・ポスターやWEBで広報したため反応が多かったため ②NGO相談自体の問い合わせが通常に比べて多かったため	
2	アースデイについて	
相談内容	国際協力に興味があるが、北海道のアースデイの状況を知りたい	
対応内容	北海道では5月23日を中心にアースデイが全域で行われており、問い合わせのあった各地について情報をお知らせした。また、環境分野から、国際協力に関心を持つ人も多いため、アースデイの資料とともに、NGO相談員やNGO関係の資料を送る対応をした	
特筆した理由	例①国際協力に関心を持ってもらう方法として、環境から入るケースがあるため ②様々な関心の入り口から、NGO相談につなげてゆける可能性があるため	
3	NGO団体の立ち上げについて	
相談内容	タイとの交流を行っており、支援を行っている団体をしりたい。また、自分たちでもタイ雑貨の店をやってゆきたいが、何か事例があれば教えて欲しい。	
対応内容	タイを支援している団体について紹介をした。また、フェアトレードを行っているショップをいくつか紹介をし説明した。また、NGOの立ち上げで法人格を取得するための、NPO法人格取得の方法について説明をした。	
特筆した理由	例①法人格を取得すると同時に、事例を紹介して欲しいとの依頼が多いため ②NGOへの関心が更に高まっている傾向が見られるため	